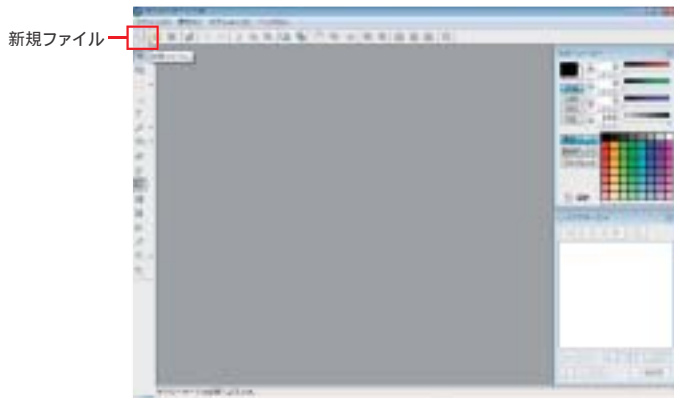


オリジナルロゴを作成しよう

新規キャンパス

- 1 [新規ファイル] ボタンをクリックします。
[新規ファイル] ボタンをクリックすることにより、新しいキャンパスを作ることができます。



【出力領域設定】メニューが表示されます。

- 2 【出力領域設定】では、キャンパスの大きさを設定することができます。今回は、無限のキャンパスを使用しますので、「無制限」にチェックが付いていることを確認し、「OK」をクリックします。

（詳細はソフトウェアマニュアルの31ページを参照）



出力領域設定

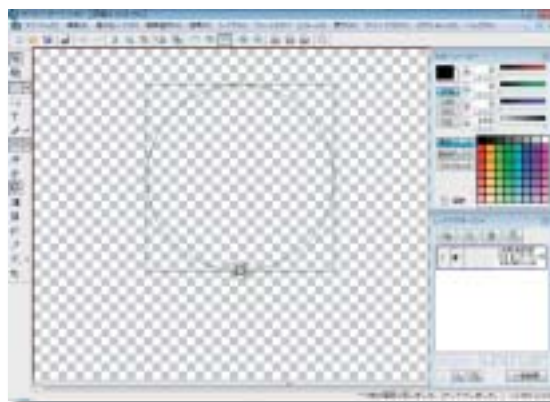
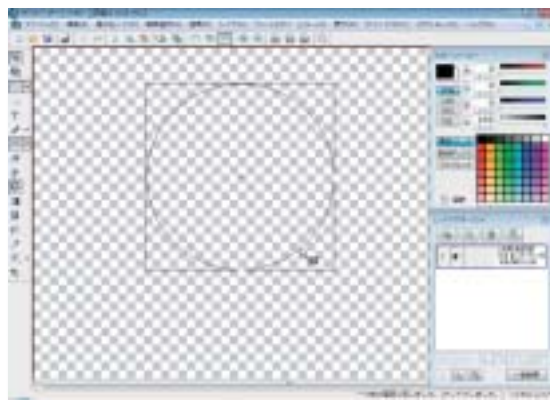
ここでは、事前に出力のサイズを指定することもできますので、学校で使用されているプリンタの用紙に合わせた、出力領域の設定が可能です。出力領域に設定されると、右の図のように緑の枠が表示され、枠の内側に表示されているイラストや写真が、印刷・保存などの出力の対象になります。

無制限にすると...

印刷の時は、自動的に使用しているプリンタの用紙サイズに調整して印刷してくれます。保存の時はキャンパス全体を保存します。

ロゴの形を作る

- 1 [範囲選択] をクリックし、円 を選択します。
- 2 ドラッグをするとグレーの線で 円 が表示されるので、適度な大きさの 円 を作成します。
- 3 クリックを離すとグレーの線が緑の点線に変わります。範囲選択の大きさを変えたいときは上下四隅の () にマウスのカーソルを持っていきドラッグをすると大きさを変えることができます。

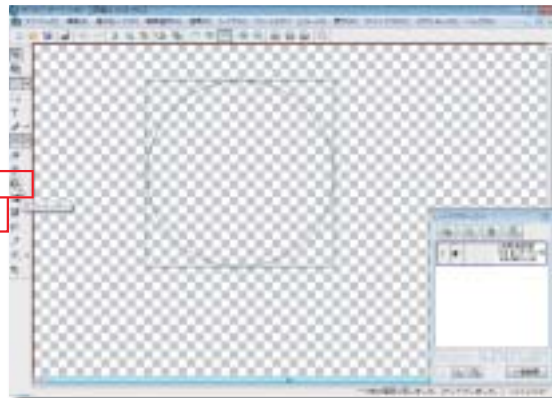


色を作ってみよう

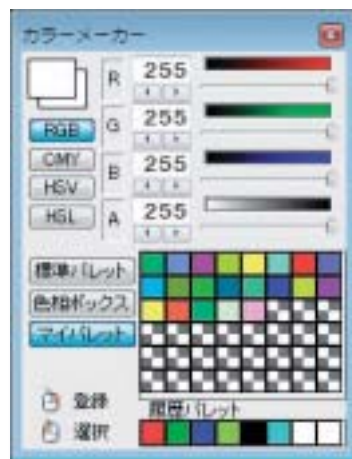
- ① ツールバーの「カラーメーカー」をクリックします。カラーメーカーのサブウィンドウが表示されます。

[カラーメーカー]のサブウィンドウはドラッグをすると移動できるので作業しやすい場所へ移動してください。

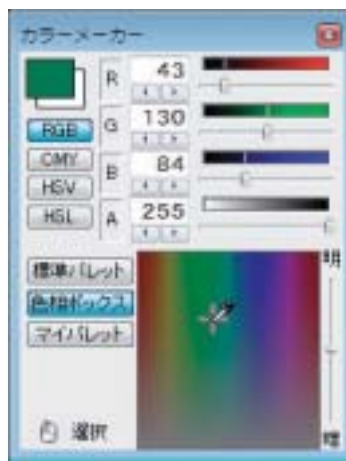
カラーメーカー



- ② カラーメーカーの[スライダー(初期設定)]が[標準パレット I 色相ボックス]の3種類から使い易いパレットを選択します。ここで[色相ボックス]を使用します。



- ③ 「カラーメーカー」からイメージする色を作ります。

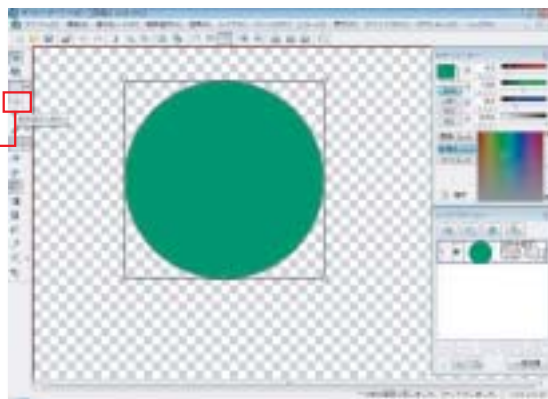


- ④ メニューバーの「描画」から「塗りつぶし」を選択すると範囲選択をした内側が塗りつぶされます。



- ⑤ ツールバーから「範囲選択の解除」を選択し、領域選択を解除します。(緑の点線が消えます)

範囲選択の解除



オリジナルロゴを作成しよう

フィルタで画像に濃淡をつけよう

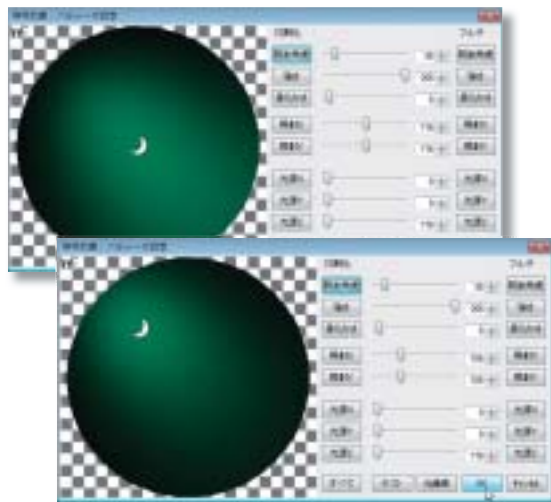
- 1 メニューバーの「フィルタ」から「おもしろフィルタ」の「照明効果」を選択します。



- 2 「照明効果:パラメータ設定」のサブウィンドウが表示されます。
- 3 パラメータの中に「三日月」のマークが表示されます。三日月マークの上にマウスのカーソルを乗せドラッグをすると照明効果(明るさ)が移動します。ここでは、照明を左上に設定します。「照射角度」「強さ」「柔らかさ」を操作することにより、さらに照明効果に変化を出すことができます。

フィルタ「照明効果」

このフィルタは夜に月の明かりを照らしたような効果を出すことができ部分的に効果を出すことや、全体的に効果を出すこともできます。



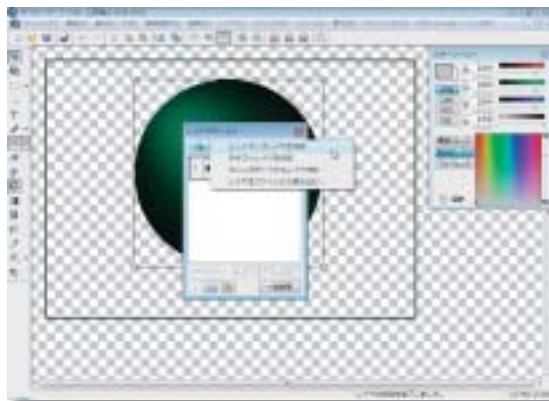
- 4 効果設定が完了したら「OK」をクリックします。そうするとキャンバス上の画像に効果が反映されます。



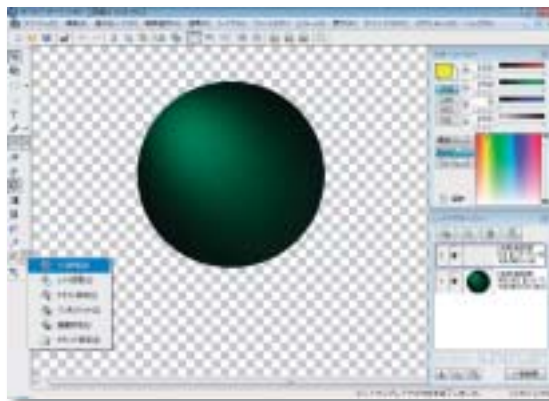
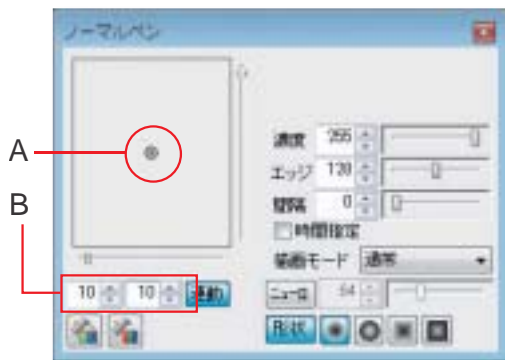
レイヤを重ねて画像を成形しよう

複数のレイヤの管理

- 1 レイヤマネージャの[レイヤの新規作成]をクリックします。そして『ビットマップレイヤを作成』を選択します。
- 2 カラーメーカーで色を選択します。ここでは黄色に設定します。

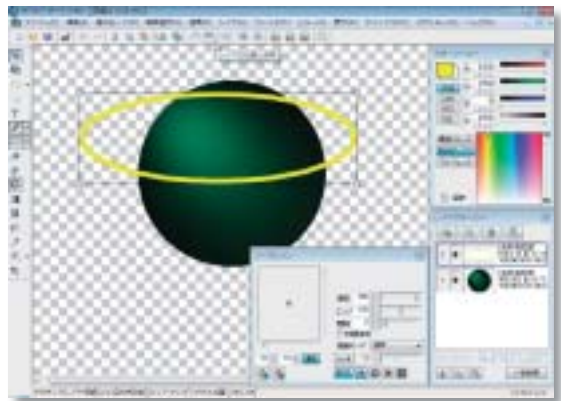
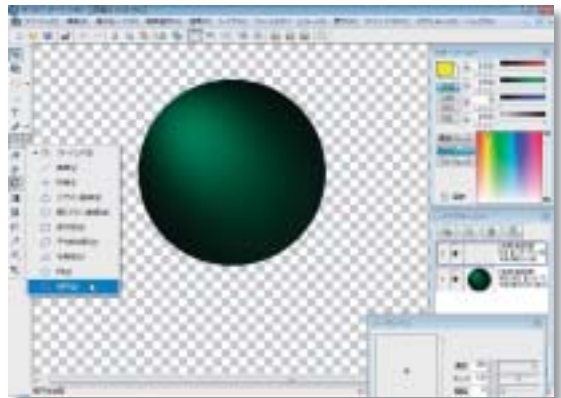


- 3 ツールバーの[各設定ダイアログ]をクリックし、ペン設定を選択します。キャンバス上に「ノーマルペン」のサブウィンドウが表示されます。
- 4 ペンの太さを設定します。ペンの太さはAをドラッグして変更するか、Bの値を入力して変更することができます。ここでは値を「10」前後に設定します。



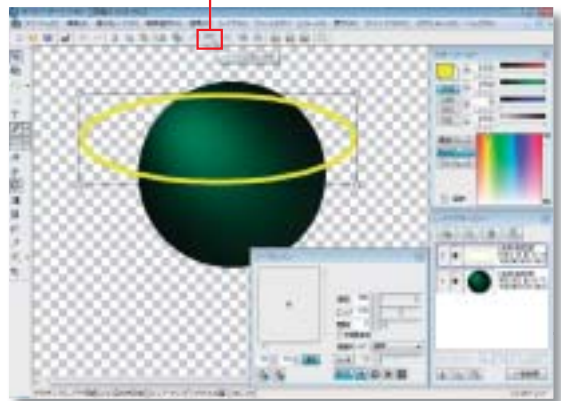
オリジナルロゴを作成しよう

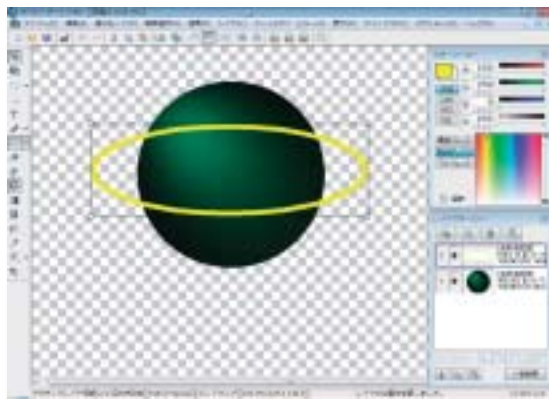
- 5 ツールバーの[ルーラー描画] から[楕円] を選択します。先ほど作った「円」より少し大きめに横に細長くドラッグをし範囲を選択します。そしてクリックを離すと指定した色に描画されます。



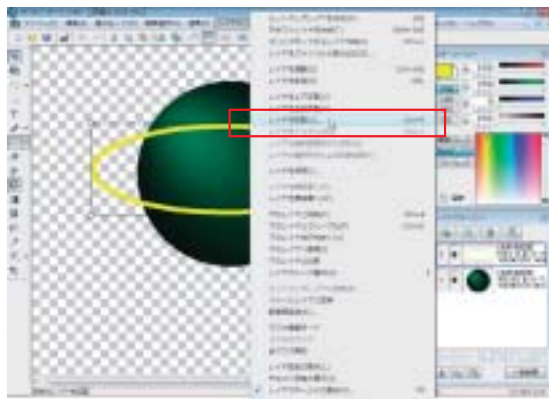
- 6 ツールバーの[レイヤの位置と倍率] を選択し、今作った黄色の楕円を円の真中に移動します。

レイヤの位置と倍率

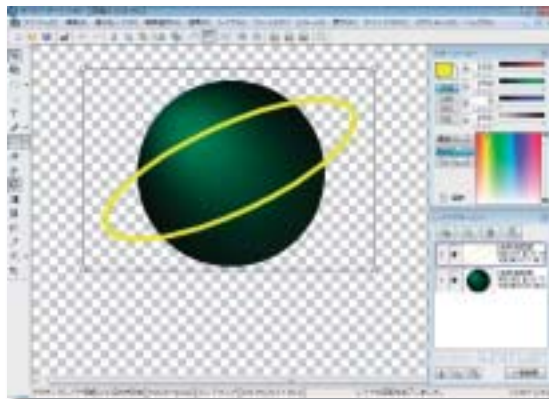




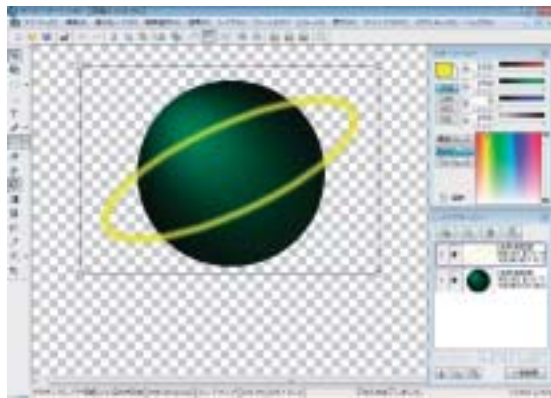
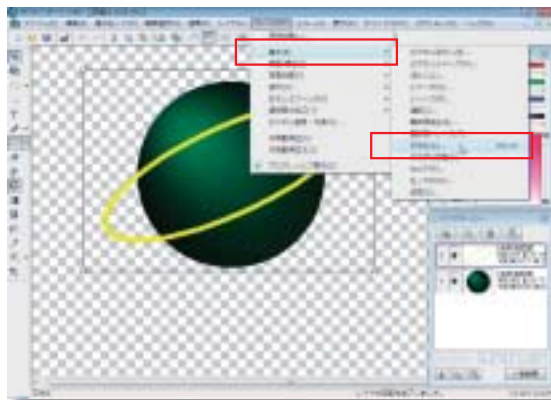
- 7 楕円の角度を変えます。レイヤマネージャで楕円のレイヤが選択されているのを確認したら、メニューバーの「レイヤ」から「レイヤの回転」を選択します。



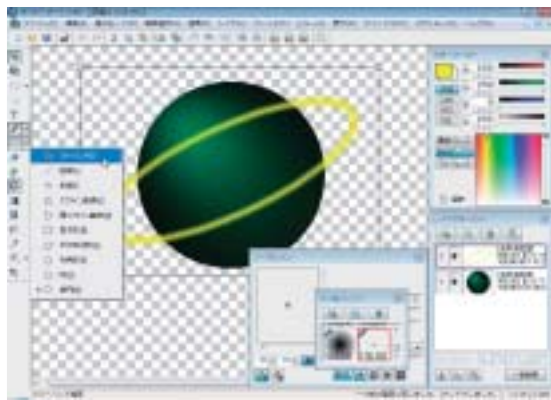
- 8 角度を設定します。サブウィンドウの画像をドラッグ、もしくは角度を指定して角度を変更することができます。こちらでは、角度を設定して変更します。左に25度回転させるので「-25」度と入力します。
- 9 OK をクリックすると設定した角度に画像が回転します。



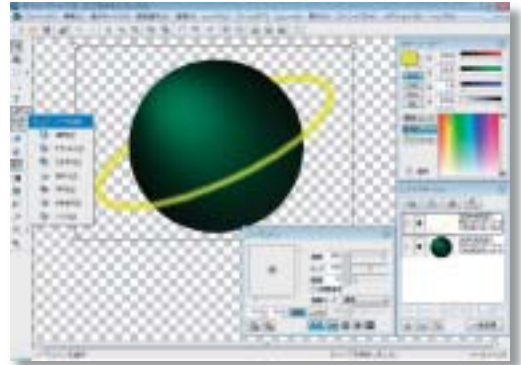
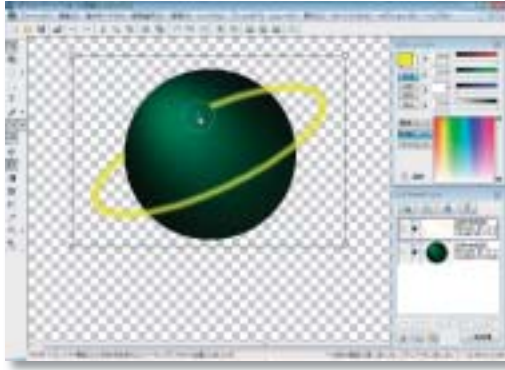
- ⑩ メニューバーの「フィルタ」から「基本」をクリックし「平均化」を選択します。
[平均化:パラメータ設定]が表示されます。
- ⑪ スクロールバーをドラッグすると画像にぼかしが入ります。値を入力することでぼかしを変えることもできます。ここで作成している画像は値を「20」くらいに設定するとバランス良くぼかしが入ります。
- ⑫ 「OK」をクリックすると楕円の画像にフィルタ効果が確定します。



- ⑬ ツールバーの「ルーラー描画」から「フリーハンド」を選択します。そして、ツールバーの「消しゴム」を選択します。

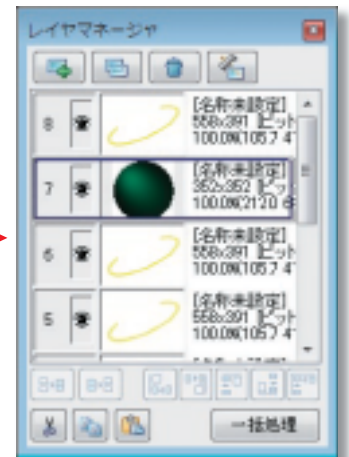


- 14 図のように、先ほど作成した黄色の楕円の輪の内側の線を消しゴムで消します。ドラッグをすることで消すことができます。



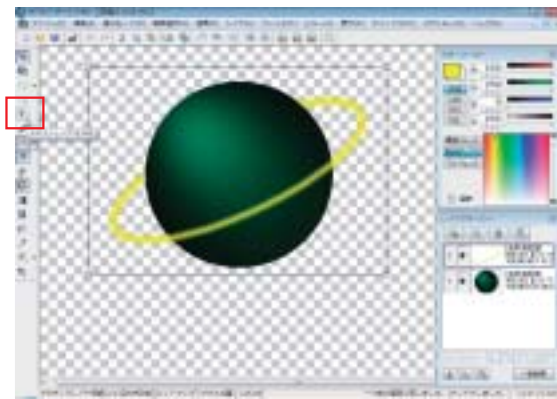
レイヤの順番変更 ~ (例) 6番のレイヤを7番と8番の間に入れる場合 ~

- 15 レイヤを選択すると、選択したレイヤが青い枠で囲われます。青い枠で囲われた状態が現在そのレイヤを選んでいる状態になります。
- 16 レイヤマネージャの中で選択しているレイヤをドラッグをするとレイヤの上の部分に太い黒の線が表示されます。
- 17 場所が確定したら、クリックを離します。そうすると、レイヤの位置が変更されます。



文字を入力しよう

- 1 ツールバーの「テキストレイヤを作成」を選択します。テキスト設定のサブウィンドウが表示されます。
- 2 カラーメーカーで文字の色を選択します。ここでは白を選択します。色を選択するとテキスト設定のサブウィンドウの左下の枠が選択した色に変わります。
- 3 文字入力枠に文字を入力します。フォントはプルダウンメニューから選択します。@マークの付いているフォントは文字を縦にします。角度調節はサブウィンドウの画像をドラッグ、もしくは角度を指定して角度を変更することができます。
- 4 入力調整が終了したら「適用」をクリックします。
- 5 文字のテキストがキャンパス上に表示されるので、ドラッグをして作品の上に重ねます。
 文字テキストが移動できない場合はツールバーの「レイヤの位置と倍率」を選択してからドラッグをします。大きさを変える場合は左右四隅の「」をドラッグして変えます。



- 6 複数のテキストを作成する場合は、「テキスト設定」のサブウィンドウの「作成」を選択し上記の作業を繰り返します。

ロゴに影を付けよう

- ① レイヤマネージャの[レイヤの新規作成]から『ビットマップレイヤを作成』を選択します。

作成したレイヤをドラッグして、すべてのレイヤの一番下に移動します。



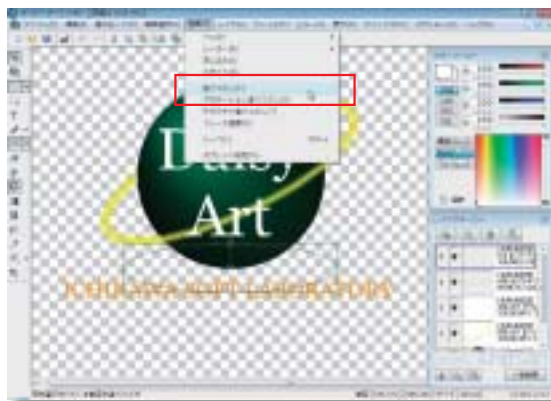
- ② [範囲選択]から[楕円]を選択します。ロゴの下に①と同じ手順で楕円を作ります。



- 3 領域が設定できたら、カラーメーカーで色を作ります。ここでは黒を使用します。



- 4 メニューバーの「描画」から「塗りつぶし」を選択します。
 5 「範囲選択の解除」をクリックし範囲選択(緑の点線)を解除します。



- 6 フィルタの「基本」から「平均化」を選択します。「平均化:パラメータ設定」のサブウィンドウが表示されたら、設定値を調節します。ここでは値を「50」にして全体の半分かすようにします。



全てのレイヤをグループにしよう

- 1 一番上のレイヤを選択し、キーボードの「shift」を押したまま、一番最後のレイヤを選択します。全部のレイヤが青い枠で囲われます。
- 2 レイヤマネージャの左下の「グループ化」をクリックして選択するとレイヤの色が変わります。
これでレイヤがグループ化され、個々の画像を同時に動かすことができます。



領域を指定して印刷

- 1 範囲選択から長方形を選択します。



- 2 ドラッグをし、上記で作成したロゴを囲うように選択します。
- 3 メニューバーの「ビュー」を選択し「選択範囲を出力領域にする」をクリックします。



- 4 範囲選択の線(緑の点線)と出力領域の緑色の線が表示されます。
- 5 ツールバーの「範囲選択の解除」を選択し、範囲選択を解除します。選択すると点線が消えます。



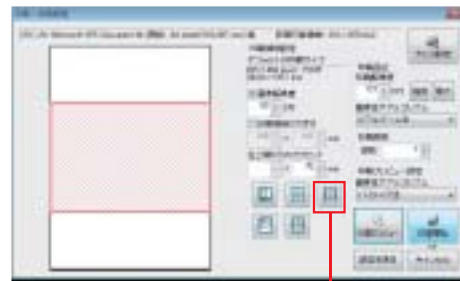
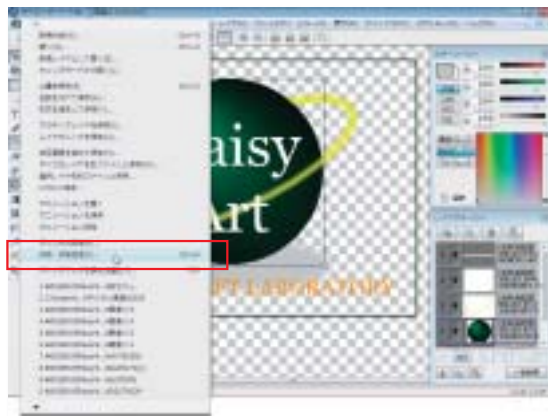
- 6 メニューバーの「ファイル」から「印刷・印刷設定」を選択します。

プリンタの用紙設定(縦横など)やプリンタの設定を変更する場合は「プリンタ設定」をクリックします。

印刷領域を設定します。ここでは「印刷領域内に最大に配置する」を選択します。そうすることで、作品が削られることなく用紙いっぱいに印刷されます。

印刷範囲のプレビューをみます。「印刷プレビュー」を選択するとサブウィンドウが表示されるので、ここで確認します。問題が無ければ「閉じる」をクリックします。

印刷を開始します。「印刷開始」をクリックするとデータが転送されて印刷が開始されます。



印刷領域内に最大に配置する